

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和7年度分）

団体名： 木津川市

（千円）

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連携推進事業	防災	災害対応力強化・防災意識向上プロジェクト	【事業の目的】 防災士の養成講座や防災マップの最新情報への更新等の取組みを行うことにより、平常時から木津川市民の防災に対する意識の更なる向上を図る。 【事業の内容】 ・ハザードマップ（市ホームページ掲載用データ：河川浸水想定区域、土砂災害警戒区域、地震液化化マップ）の改訂。 ・避難所用資機材の充実のため、備蓄用食料やAED消耗品などの計画的な確保。 ・市民の防災に対する意識の啓発、知識・技能の習得や向上を図るため50人の防災士養成を目指し、養成講座を開催。 ・夏季の消火活動における消防団員用の冷却ベスト、職員用の防災服の配布。	11,444	5,721	地域防災力強化の取組みとして、自主防災組織に対し助成を行った。また、ハザードマップを改訂したほか木津川市民を対象に防災士養成講座を開催し、47人の防災士合格者を輩出した。 災害への備えとしては、備蓄用食料やAED消耗品、災害用備蓄ミルク及び授乳カップ等を購入し、避難所用資機材の充実を図った。加えて、消防団員用の冷却ベストや職員用の防災服の配布等を行った。	防災士養成講座により市民の防災に関する知識や技術を向上し、合格者を輩出したことで、防災士の資格取得者の増加に寄与することができた。 自主防災組織への助成や避難所用資機材の充実なども含め、地域全体において災害発生時の対応力強化につながる取組みを行うことができた。
2	地域づくり連携推進事業	防災	災害リスク管理プロジェクト	【事業の目的】 平常時から設備・器具の点検交換、工事等を行うことで、有事の際の危険を未然に防ぎ、頻発化する自然災害への対応力を高める。 【事業の内容】 ・内水排除施設の点検整備の実施。 ・排水ポンプ車の運転業務委託。 ・公園・緑地における支障木の伐木・剪定。	21,133	10,566	内水排除施設においては、出水により消耗があった設備等の点検整備や排水ポンプ車の運転業務を委託した。 また、公園・緑地における支障木対策を行うことで、有事の際の危険を未然に防ぎ、頻発化する自然災害への対応力を高めた。	平常時に設備・器具の点検整備、工事等を行ったことで、危機管理体制の充実及び頻発化する自然災害への対応力を高めることに寄与した。
3	地域づくり連携推進事業	子育て支援	「子育て・子育て」まちづくり推進プロジェクト	【事業の目的】 「子育てするなら木津川市」といわれるまちを目指し、誰もが安心して子どもを産み、育てられるよう、子育て支援を進めるとともに、次代を担う子どもたちの教育・保育環境を整備し、未来を生きる子どもたちを育む「子育て・子育て」のまちづくりを推進する。 【事業の内容】 ・こども遊びイベントの開催。 ・電話設備更新。 ・遊具点検結果に伴う遊具修繕。	3,958	1,978	遊具を活用した遊びを通して子どもや保護者の交流促進を図る「あそびでつながるプレイフルパーク」を1回実施し、401人が参加した。また、遊具点検の結果に伴い、相楽保育園の遊具の修繕を行った。 いづみこども園においては、電話設備の更新を行った。	「あそびでつながるプレイフルパーク」の実施や保育施設の遊具修繕、こども園内の電話設備更新により、こどもが安全・安心に過ごせる保育環境を整備するとともに、施設のインフラ整備につなげることができた。

4	地域づくり連携推進事業	環境	デコ活推進プロジェクト	【事業の目的】 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」が令和5年度から始まったことに伴い、地域の企業・民間団体等とも連携しながら市民の新しい暮らしを後押しして、ゼロカーボンシティの実現を目指す。また、市が率先してデコ活に取り組み、市民・事業者の主体的な取組みの促進を図る。 【事業の内容】 ・地域の企業や民間団体等と連携した小学生親子向けプログラムや、環境イベント「エコフェスキづがわ」の開催。 ・地球温暖化についての基礎知識の学習を目的とした、小中学校への環境学習出前授業の実施。 ・地球温暖化に係る情報と認識の共有を目的とした、職員研修の実施。 ・外気熱の庁舎内への影響を防ぐため、市役所本庁舎窓（庁舎1階～5階南面及び一部東西面ガラス）への遮熱フィルムの貼付。	6,371	3,185	デコ活事業を実施し、市民や事業者等と連携して持続可能な脱炭素社会づくりに向けた取組みを行った。 商業施設においては、環境イベント「エコフェスキづがわ」を2回開催し、延べ24ブース、615人が参加した。小中学校向け出前授業では、11校、延べ102クラスに対し授業を行った。 また、令和7年10月～12月には市役所本庁舎窓（庁舎1階～5階南面及び一部東西面ガラス）に遮熱フィルムを貼付した。	地域の企業、民間団体等と連携して環境イベントを開催し、デコ活事業を推進することで、市内における地球温暖化対策への意識、認知が広がった。 市役所本庁舎窓へのフィルム貼付については、当該場所への体感温度が下がったとの声が多数あり、今後、電気利用の削減やそれに伴う温室効果ガス排出量の削減が期待できる。
5	地域づくり連携推進事業	文化振興	文化財の活用・検討プロジェクト	【事業の目的】 瓶原公民館は旧瓶原村役場として、椿井区公民館は旧高麗村役場として使用されていた貴重な公共建築物であり、市民所有の古民家と併せて、文化財建造物調査を実施する。 また、史跡恭仁宮跡に関するパンフレットの残部が少なくなっているため、一部内容を改訂したうえで増刷を行う。 【事業の内容】 ・建造物調査。 ・恭仁宮跡パンフレット増刷。	1,824	911	瓶原公民館（旧瓶原村役場）と椿井区公民館（旧高麗村役場）、明治期に建築された古民家の計3件について文化財としての価値を明らかにするとともに、記録保存を行うため、建造物調査をNPO法人古材文化の会に委託し実施した。 また、恭仁宮跡のパンフレットの残数が少なくなっていたため、一部内容を改訂したうえで6,000部の増刷を行った。	瓶原公民館、椿井区公民館及び古民家においては、公開管理施設としての活用検討だけではなく、公共施設の利活用の観点からも検討することができた。 また、特別史跡恭仁宮跡のパンフレットの増刷も行うことで、文化財の活用推進を図ることができた。
6	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	防犯カメラ整備プロジェクト	【事業の目的】 通学路に設置している防犯カメラの更新及び上人ヶ平遺跡公園と市立図書館3館に防犯カメラを設置することにより、犯罪を未然に防止し、市民が安心して生活できる環境の整備を図る。 【事業の内容】 ・防犯カメラ整備事業。 ・上人ヶ平遺跡公園防犯カメラ設置。 ・図書館内監視カメラ設置。	2,571	1,210	各小学校通学路や地域に設置している耐用年数を超える防犯カメラの更新を図るとともに、地域要望等をもとに警察と協議し、必要な場所に防犯カメラを設置した。 また、上人ヶ平遺跡公園や図書館内にも防犯カメラを設置した。	「京都府総合計画」の8つのビジョンと基盤整備「②災害・犯罪等からの安心・安全の実現」の「地域防犯力・交通安全力の強化」に関連している刑法犯認知件数難関15,000件以下の維持に寄与することができた。
7	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	水泳学習充実プロジェクト	【事業の目的】 「学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合」を増加させるため、水泳学習の充実を図る。 【事業の内容】 水泳指導の充実化。	7,573	1,753	児童の着実な泳力向上を図るため、木津地域の小学校及び学校プールの老朽化により使用が困難な小学校の水泳指導業務を民間業者に委託した。また、加茂地域及び山城地域の小学校では、専門的知識や技術を有するインストラクターによる指導を導入した。	「京都府総合計画」の8つのビジョンと基盤整備「③子育て環境日本一・京都の実現」の「子どもが安心して教育を受け成長できる環境づくり」に関連している「学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合」の増加に寄与することができた。 また、水泳指導の民間委託等により、効率的で安心・安全な指導や教職員の負担軽減にもつながった。

8	大阪・関西万博連携推進事業	その他	世界に向けた木津川市の魅力発信プロジェクト	【事業の目的】 大阪・関西万博を契機に、大阪付近を訪れる観光客が増加することを見据え、市内における観光振興、交流人口・関係人口の増加及び観光地域づくりを図るため、各施策を実施し、地域活性化を図る。 【事業の内容】 ・「木津川アート２０２５」の開催。 ・市民まつりなどの市の魅力を発信するイベントの開催。 ・大阪・関西万博関連事業の開催。	30,012	8,218	市内で活動する２３団体の協力による夏祭り実行委員会を組織し、令和７年８月２日（土）に開催した。市民まつりでは、木津川河川敷での花火打上げ及び城山台地域での露店の出店による集客イベントを行った。 また、「木津川アート２０２５」はけいはんな万博に参画し、「サイエンス・アート」分野のイベントのひとつとして令和７年９月２７日（土）～１０月１３日（月・祝）に開催した。 さらに、令和７年４月１３日～１０月１３日の期間、大阪で「大阪・関西万博」、学研都市エリアで「けいはんな万博２０２５」が開催されることに関連し、万博の観光客を木津川市に誘客し、木津川市の魅力を国内だけではなく世界に発信するため、万博関連イベント、関西パビリオン京都ブースＰＲへの出展やＳＮＳを活用した市の魅力発信に取り組んだ。	市民まつりの開催により、交流人口の創出と市民相互の交流を促進したことによって、成果指標「まちへの愛着度」向上に寄与し、地域の活性化を図ることができた。 また「大阪・関西万博」、「けいはんな万博２０２５」の開催に伴い、インバウンド含め、国内外の来訪者にＰＲ等を実施し、国内外からの誘客促進に取り組んだ。
9	市町村間連携推進事業	その他	相楽休日応急診療所運営プロジェクト	【事業の目的】 日曜日や祝祭日などの休日に比較的軽症な方を対象に、初期（一次）救急として応急的な診療を行う。 【事業の内容】 ・相楽休日診療所において、相楽医師会に所属する医師が輪番制で出務し、診療を行う。	7,664	1,590	実施主体である相楽広域行政組合に対し、利用実績に応じて負担金を支出した。	休日においても誰もが安心して医療を受けることができる体制を構築し、地域の中核病院である京都山城総合医療センターを中心とした相楽地域での医療体制の充実を図ることができた。
10	市町村間連携推進事業	その他	図書館連携プロジェクト	【事業の目的】 将来の人口減少社会も見据え、インフラの効率化や持続可能なまちづくりが求められるなか、幅広い分野に対する取組みをより効果的に指針していくため、木津川市・奈良市間において、連携・協力関係を深めていく。 【事業の内容】 ・奈良市立北部図書館について、木津川市民が利用できるよう、奈良市との包括連携協定の主な連携事項の１つである公共施設の相互利用を推進し、公共施設の効率的な利活用と地域住民の相互活用を図る。	10,223	3,000	木津川市民の奈良市立北部図書館前年度利用実績により、広域連携負担金を支出した。 【貸出冊数・利用者数】 ・令和６年度：７５,７２６冊 ２２,８６０人 ・令和７年度：７４,１４７冊 ２２,９６０人	奈良市との包括協定の主な連携事項である公共施設の相互利用を推進したことで、成果指標「木津川市民の奈良市北部図書館延べ利用者数」向上へ寄与し、交流人口の増加と、地域活性化を図ることができた。
11	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	公共交通再編検討プロジェクト	【事業の目的】 コミュニティバス「きのつバス」において、ＯＤ調査（起始点調査）を行い、利用者の移動実態を把握して、運行効率化に向けた検討を図る。 【事業の内容】 ・「きのつバス」のＯＤ調査（起点と終点を把握することで、人々がどこからどこへ移動しているのかを把握するための交通量調査）。	4,840	942	運行経費が上がる一方であるコミュニティバスにおいて運行の効率化の可能性を検討するため、きのつバスのＯＤ調査を行った。 また、きのつバスの利用者に対し、利用状況や運賃値下げの効果を把握するためアンケートを実施した。（有効回収数：４４６票）	ＯＤ調査より、きのつバス各系統の利用状況が把握でき、今後のきのつバス運行に係る施策の参考となった。 利用者アンケートでは、運賃値下げによる利用者年齢層を把握でき、今後のコミュニティバス運賃に係る施策検討の一助となった。